

2025年度 大学への青桐会からの質問・要望（回答）

【就職関連】

1. スポーツ部で活動しているが、就職活動はどのようなスケジュールで行えばよいのか大学としてのフォロー状況を教えていただきたい。
又、プロとしての活動を希望している場合、引退後の相談等も可能でしょうか。

【回答】

① 就職活動のスケジュールについて（*）

一般的な就職活動の流れとしては、

3年次4月～9月：インターンシップ（仕事体験等）準備・エントリー～夏休みに参加

3年次10月～1月：秋冬インターンシップへの参加、早期選考

3年次2月～4年次春以降：本選考、内々定

となります。

スポーツ部の学生もこのスケジュールを前提に就職活動を行うこととなりますが、個々の事情があることを踏まえて、競技シーズンや大会スケジュールと調整しながら活動を進めることとなります。最近の就職活動は、オンラインでの説明会や面接もあるため、時間を工夫しながら、部活動と就職活動を両立することは可能です。求人は4年生の夏以降もキャリアセンターに沢山届いておりますので、時期に関わらず、ぜひご相談ください。

就職支援行事について、LIVE視聴が困難な学生向けにオンデマンドでも視聴ができるようにしていることや、専門のキャリアアドバイザーによる個別相談が板橋・東松山のどちらのキャンパスでも利用可能。対面が難しい場合はオンラインでも相談が可能となっているなど、学生がスポーツ部で得た強みを活かせる進路選択ができるようフォロー体制を整えております。

② プロとしての活動を希望している場合、引退した後の就職相談について

キャリアセンターでは、卒業生に対する支援として、求人票の閲覧サービスや相談のできる公共の相談機関の紹介などを行っておりますが、既卒者向けの求人は限られています。就職（契約）の段階で、就職（契約）先に、競技引退後のキャリア支援について確認することをお勧めします。

2. 鉄道研究会で活動しており、就職先も鉄道関係を希望しています。

このような専門分野への就職を希望している場合の就職支援はあるのか教えていただきたい。

【回答】

鉄道関連企業には、JR・私鉄各社をはじめ、信号機メーカー、車両メーカーなど様々な企業がありますので、キャリアアドバイザーによる個別相談をご活用ください。また、学内合同企業説明会にもJR 東日本や東京メトロをはじめとする鉄道関連企業を招き、学生とのマッチングを図っておりますので、積極的に参加することをお勧めします。

3. 就職活動が早期化しているが大学側の取り組みをされていますか。

又、就職活動の開始時期や内定時期、保護者として必要な準備についても教えていただきたい。

【回答】

① 早期化への大学の取り組み

企業が新卒採用に苦戦していることから、就職活動は早期化・長期化しております。キャリアセンターでは、就職支援サイトのデータや、企業の採用担当者へのヒアリングを通じ、最新の動向を見据えたスケジュールで就職支援行事を開催しております。

一般的な就職活動の流れとしては、上述 1. ①（*）に記載したとおりですが、キャリアセンターでは、時期および学生の進捗に応じ、自己理解・仕事理解、企業の選び方といった準備から、履歴書の書き方や面接などの選考対策まで、きめ細かくフォローしております。また、就職活動に苦戦している学生についても、定期的に支援行事を開催し、活動に伴走しています。加えて、本学では、1,2年次におけるキャリア教育・キャリア支援を進めて、就職活動に向けた基盤づくりにも取り組んでおります。

② 保護者の準備

保護者世代と今の学生世代では、就職活動の内容や方法が大きく変わっています。学生は、就職活動が早期化・長期化していることにより、ストレスも大きくなっています。保護者のみなさまにおかれましては、まずは温かく見守っていただき、ご家庭からもキャリアセンターの利用について勧めていただくと幸いです。

また、就職活動には、スーツ代や交通費等の諸費用がかさむ一方で、アルバイト時間も限られてくることもありますので、必要に応じて金銭面のサポートなどにもご配慮ください。大きな行事、節目となる行事については、本学ホームページ「キャリアセンターからのお知らせ」に掲載しており、保護者の方もご覧いただけます（こちらのQRコードよりアクセスし、ご覧ください）



<https://www.daito.ac.jp/career/news/>

【教務関連】

1. AI を利用したレポートについてはどのように取り扱われていますか。
また生徒にはどのような指導を実施されていますか。
就職活動では積極的に AI 活用している事例もありますので、AI についての大学の取り組みについてご教示ください。

【回答】

生成 AI の急速な発展に伴い、教育の場における活用の可能性も広がっております。一方で、発展途上の技術であることから、さまざまな課題やリスクも指摘されています。そのため、生成 AI を利用する際には、その長所と短所を十分に理解し、慎重に活用することが重要です。

本学の授業においても、学生が生成 AI の出力結果を学習・研究活動の成果（論文・試験答案・レポート等）として、そのまま安易に使用・提出することのないよう、適切な指導を行っております。

具体的には、生成 AI の仕組みや、大学および大学院での学修における利用上の留意点をまとめた動画を本学で作成し、基礎演習やゼミ等の授業内で視聴させるなどの取り組みを行っております。

なお、学部・学科や科目の特性によって、生成 AI 利用の可否や留意点は異なるため、動画視聴後には、担当教員より個別に補足説明を行うようにしております。

（参考）本学 HP 「生成 AI ガイダンス」

生成 AI を使用するためのアカウント登録と利用方法等について記載しております。

https://www.daito.ac.jp/news/details_41604.html



（参考）本学 HP 「情報倫理と生成 AI」

ネットワーク社会で学生が被害を受けない、トラブルを起こさないための必要な知識、法律、マナー等を身につけるための e-Learning 教材（INFOSS[インフォス]情報倫理）を上記生成 AI に関する動画と併せて活用するようにしております。

https://www.daito.ac.jp/itc/other/details_00053.html



2. 他大学の大学院への進学を希望した場合、サポートしていただけるプログラムはありますか？また、就職活動にむけ1、2年生のうちに学校生活以外で意識して取り組むべきことがあれば教えてください。

【回答】

① 他大学の大学院に進学する場合

本学キャリアセンターには、大学院への進学に向けたプログラムはございません。大学院進学は、専攻する分野を決定した上で受験する研究科を選択していくこととなりますので、大学院が開催する説明会・相談会を利用したり、ゼミや卒業論文（研究）の指導教員に相談していただくこととなります。

②1・2年次の大学以外での取り組み

希望する進路により、大学以外での必要な取り組みもさまざまですので、キャリアセンターにご相談ください。ただ、どのような進路に進むにしても、自分の関心を広げ、また主体性や協働性を養うために、学業に関連する学外活動や社会経験（ボランティア、アルバイトなど）などは、1・2年生のうちから意識的に取り組んでおくともよいかもしれません。こうした経験は、将来の進路選択や自己理解を深めるうえでも大切なステップとなります。

3. すべて対面授業ではなく、オンラインやオンデマンド授業の導入検討をいただけませんか。

最近会社でもオンライン会議などが増えており、学生のうちから慣れる機会を設けていただきたいと思います。

【回答】

コロナ禍での授業運営の方策として、LMS（＝学習管理システム、本学では「DBmanaba（マナバ）」というシステムを利用しています）などを用いて、一部オンラインやオンデマンド配信による授業もありました。コロナ収束後は、学生と教員のコミュニケーションの場を取り戻す意味もあり、対面授業に戻ることもとなりましたが、これらの遠隔授業をすべてなくすのではなく、その利点を活かして、また対面授業の課題を解決するための手段として、その在り方を検討してまいりました。

本学では、教室の収容人数を超える履修希望が生じる場合は、代替となる教室への移動を行うなどの対応を行っております。人数によってはこれが難しいこともあり、その場合は抽選により受講者を決定しております。しかし、抽選に外れてしまう学生が出てしまうことが課題となっております。こうした状況を改善し、より多くの学生に学ぶ機会を提供するため、2026年度より全学共通科目を中心に、オンデマンド授業の導入を進めております。これにより、3年生以降、板橋キャンパスに移った後も東松山キャンパスで開講される全学共通科目が履修しやすくなるという利点もあります。

また、学科の専門科目においても、オンデマンド形式によってより高い教育効果が期待できる科目については、同様に導入を進めております。

なお、全学共通科目「データサイエンス A」については、2024年度にオンデマンド授業として先行開講しており、同年度以降に入学した学生が履修できるようになっております。

【教職関連】

1. 小学校教員を目指していますが、防災関係の資格を取得する為の支援はありますか？

【回答】

「資格取得」という形での直接的な支援は行っておりませんが、本学では防災に関する理解を深めるための授業や課外活動を通じて、実践的な学びの機会を提供しております。

たとえば、「現代政治のイシュー（政治学現地研修・福島）」では、福島県を対象に、津波・地震・放射能・風評といった複合的な被害の現状と課題を学びます。現地での3泊4日の研修（2025年度は9月実施）を必修とし、現実の課題に向き合うジャーナリストや公務員を志望する学生、将来教員として社会科・公民等を教える学生に特に有意義な内容となっています。政治学科開講科目ですが、全学部の学生が履修可能です（ただし、看護学科を除く）。関連科目として、全学共通科目「現代社会の諸問題（現代政治・行政の先端）」も開講しております。

また、課外活動では、防災研究同好会「STERA」が「守るを学ぶ」を合言葉に、防災イベントの企画・運営や被災地でのフィールドワークなど、精力的な活動を行っており、NHKなどのメディアにも取り上げていただいています。こうした学内外の取り組みを通じて、学生が防災意識を高め、将来教育現場などで活かせる知見を培うことを目指しております。

2. 音楽の授業でピアノは、どの程度弾ける必要がありますか？

（ピアノ教室に通わなくて良いのかと、心配しています。）

【回答】

教育学科のピアノ科目については、未経験者でも履修できるよう授業内で対応しておりますので、別途ピアノ教室に通っていただくには及びません。板橋校舎・東松山校舎ともに個室のピアノ練習室があり、教育学科の学生は練習のために利用できます。なお、保育士課程の学生については、「ピアノ1」の科目（3年次配当）が必修となっていますが、保育士課程以外の教育学科生は必修科目ではありません。またピアノ以外にも、音楽関連授業では声楽・管楽器・弦楽器・邦楽器の授業を選択することができます。

3. 書道学科を専攻していますが教員をしながら書道を続けることは可能でしょうか。
また一般企業に勤めた後に、教職に戻る事は出来るのか、過去事例等ありましたら教えていただきたい。

【回答】

教員として勤務しながら、趣味やライフワークとして書道が続けていくことにつきましては、全く問題ございません。むしろ、本学で身につけられた書道に関する知識や技能をさらに深められることは、さまざまな面において望ましいことであると考えております。実際に、そのような形でご活躍されている卒業生は少なくありません。

また、一度一般企業へ就職した後であっても、教員採用試験に合格すれば教職へ戻ることは可能です。近年は、社会人としての経験を生かして教員となる方も増えております。本学教職課程センターでは、教員採用試験対策として「教職セミナー」を実施しており（『2025年度 保護者のためのガイドブック』P34を参照）、在学生だけではなく、卒業生の皆さまにもご利用いただけます。内容や実施時期につきましては、お問い合わせいただければ詳しくご案内いたします。

なお、教員免許状を取得されていない場合には、新たに免許取得が必要となります。本学では、在学中に履修できなかった科目を「科目等履修生」として受講し、免許取得に必要な単位を取得できる制度がございます。履修期間や費用、必要科目などについては、教職課程センターにて随時ご相談を承っております。その他、本学では設置していませんが、通信制課程にて教員免許を取得できる大学もございます。

いずれにいたしましても、教職に関するご相談は、卒業後であっても教職課程センターにて随時受け付けております。どうぞお気軽にお問い合わせください。

【学生生活関連】

1. 他大学では運動系の部活で大麻などの問題が発生しており、心配しています。
飲酒、薬物などの指導や（説明だけでなく何がどうしてダメなのか理解できるように徹底してほしい）大学独自の対策も行っていたいただきたい。
学生への注意喚起についても多様な方法で実施していただきたいです。

【回答】

飲酒、薬物などについては、DB Handbook（学生手帳）で注意喚起し、新入生には基礎演習などの授業でも注意喚起しています。

大麻については、2025年6月にあらためて学生支援センターから全学生にDBポータルで注意喚起し、併せて、スポーツ振興センターから運動部指導者を通して所属学生全員に動画研修の受講を指導するとともに、主将主務会議においても注意喚起しました。

飲酒については、定期的に学生支援センターから全学生にDBポータルでも注意喚起しています。

（参考1：DBポータル「大麻」注意喚起 2025年6月）

■ “大麻は安全” はウソです！

他大学で大麻による学生の逮捕が相次いでいます。

大麻の所持・譲渡、使用、栽培は法律で固く禁じられています。

ネットなどには、健康被害はない、依存性はない、合法的な国もあるから安全、などといった誤情報が溢れていますが、「大麻は有害で依存性があることは明らか」で、特に若者の脳に悪影響があることが判明しています（「学習能力の低下」「運動失調」「精神障害」など）。

「誘われた」「その場の雰囲気」「興味本位」「一度だけなら大丈夫と思った」などは言い訳になりません。

「大麻グミ」や「大麻キャンディ」などといった加工品にも注意してください。怪しいものを食べてはいけません。

万一誘われた場合は、きっぱりと断りましょう。どうしても断りづらい場合は、その場から逃げてください（このような場合に逃げることは決して恥ずかしいことではありません）。

SNSやチャットなどで誘われた場合は、スルーして反応しないでください。断りの返信も不要です。そのようなひとからの連絡はブロックし、自分の身を守りましょう。

大麻は「ゲートウェイドラッグ」とも呼ばれています。大麻をきっかけにして、より強い刺激を求めて他の違法薬物に手を出すことになりかねないからです。

最初はやさしかった売人に脅されて犯罪に加担させられる、などといったことも容易に想像が付きましょう。

大麻などで一生を棒に振ることのないようにしてください。

以下の参考URLはいずれも必読です。

参考URL その1：政府広報オンライン

<https://www.gov-online.go.jp/article/202412/entry-6856.html>

参考 URL その 2 : 厚生労働省

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iyakuhin/yakubuturanyo/campaign2025/index_06.html

参考 URL その 3 : 警察庁

https://www.npa.go.jp/bureau/sosikihanzai/yakubutuhyuuki/illegal_cannabis/

(参考 2 : DB ポータル「飲酒」注意喚起 年末や新歓シーズンなど)

■飲酒について

20 歳未満の飲酒は法律で禁止されています。20 歳以上であっても飲酒の際は節度を保ちましょう。

飲酒の強要やイッキ飲み、飲酒運転などは、絶対にしない・させないでください。

それでも万一、急性アルコール中毒などの症状の者が出てしまった場合には、その者を放置せず、躊躇なく救急車を要請するとともに、救護活動を行なってください。

他大学では、「具合が悪くなった学生の救護活動を怠り死亡させたとして、飲み会に参加した学生 16 人に裁判所が賠償を命じた」「運動部の飲み会で未成年 5 人が飲酒したとして、その 5 人を含む 24 人（部全体の 4 分の 1）を退部とし、当面活動停止とした」といった事例が発生しています。

飲酒トラブルは、人命にかかわることであり、多くのひとの一生を棒に振ることにもなりかねませんから、くれぐれも未然防止に努めてください。

参考 URL : 特定非営利活動法人 ASK

酔いつぶれた人の命を救う 4 回のチャンス

<https://www.ask.or.jp/article/535>

2. 一人暮らしの学生が病気になった場合のケアについて。

大学に診療所があることを知らない学生がいるそうです。

入学時のガイダンス等で、場所や診療内容について周知していただけませんか。

知らない土地で病院を探すことがとても大変なので近隣の病院（医院）

リスト等の配布も検討いただけませんか。

【回答】

大学の診療所・保健室（東松山は管理棟 1 階、板橋は 1 号館 1 階）については、『保護者のためのガイドブック』や大学ホームページ、DB Handbook（学生手帳）などでご案内していますが、引き続き周知に努めて参ります。近隣の病院（医院）については、大学近隣であれば大学の診療所・保健室でもご紹介できますが、夜間や休日の体調不良などに備えるためにも、お住まいの各自治体ホームページなどで医療機関情報を予め各自でご確認くださいようお願いいたします。病院へ行くか、救急車を呼ぶか迷ったときは、「#7119」（救急電話相談）もご活用ください。病気は予防が大事ですから、毎年 4 月に学内で行なわれる定期健康診断は必ず受診してください（「健康だから受診しなくても大丈夫」と考えるのではなく、「健康であることを確認するために受診する」とお考えください）。なお、本学には、『保護者のためのガイドブック』などでご案内しています通り、安全互助会の医療見舞金制度があり、保健室がその受付を担っています。

【施設設備関連】

1. 学食/売店について

板橋校舎の売店・食堂スペースを拡充していただけますでしょうか。

昼休みに混雑して食事ができない状況です。東松山校舎のような充実を希望します。

【回答】

板橋校舎は、敷地が狭いため売店・食堂スペースをこれ以上広げることができません。また、学内ではお弁当販売やキッチンカーなどでも食事の提供をしており、1号館の自由ホールなどで食べることもできます。自由ホールには、電子レンジや給湯設備、ウォーターサーバーもあり、授業期間中は昼休みにあわせて弁当販売を行っております。

なお、この自由ホールは、2024年11月に100周年記念事業募金を活用しまして、1号館地下に新たに設けたスペースです。『学生が多角的に使用できる居場所づくり』をコンセプトに、学生たちの声をアンケート等で集め実現しました。当スペースには、テレキューブ（個室型ワークスペース）やカウンターテーブルをはじめ、打合せスペースや友人同士で座れるワークソファなどが完備されております。学習スペースとしてはもちろん、学生同士の交流や休憩スペースとして利用可能です。

2. 寮について

『入寮人数に対して洗濯機の数が少ない。入寮人数が100人以上いるが管理人は不在』（硬式野球部）

『入寮者が少なく寮の運営が厳しい、ほかの部も取り込むなど工夫が必要と思われる、風呂が大風呂で浴槽が大きすぎて光熱費がかさむので、大きな浴槽の中に家庭用のバスタブを入れて使用を試みるも使い勝手が悪く、結局は冬でもシャワーのみ』（スキー部）

寮の環境改善への取り組みを教えてくださいませんか。

【回答】

運動部の寮は基本的に各クラブで家主との賃貸借契約を締結し、施設管理や運営も各クラブに任されております。スポーツ振興センターとしては、2025年12月に実地視察を実施し、各寮の運営状況などを調査したうえで保険加入や防犯の観点でのサポートを検討しています。

【スポーツ関連】

1. 部活の試合会場に向かう際、選手が車を運転することや、現地集合だと電車で4時間かかるので車に同乗させてもらうこともあると聞いています。電車代自己負担、立て替えした分も支払いされないなど、なかなか改善されません。
部活動への支援体制の見直しや予算配分について、計画が有れば教えていただきたい。

【回答】

移動に関する交通手段や交通費について、大学としては事故のリスクなども考慮して公共交通機関の利用を推奨いたしますが、最終的には自己判断と自己負担が基本になります。また、大学や学生自治会を通して配分されている活動経費の使途についても、基本的には各クラブの裁量に任せられておりますので、現時点で具体的な計画などは検討されておられません。

スポーツ振興センターとして、指導者に対しては遠方の試合会場への参加を強制しないように注意喚起いたします。なお、立て替え金の精算が滞るなど金銭的なトラブルの可能性がある場合は、指導者もしくはスポーツ振興センターまでお問い合わせください。

【留学関連】

1. 留学の費用や成績によつての選抜方法、選ばれる確率について教えてくださいませんか。希望者全員がスコアに達していれば選出されるのでしょうか。

【回答】

短期留学の費用は、国や期間、留学先によつて大きく異なります。また、為替の影響を受けるため、同じ留学プログラムでも、留学のタイミングによつて費用が変動する場合があります。これを踏まえた目安として、短期留学の費用は以下の通りです。

- ・オーストラリア（3週間）：約 55 万円
- ・カナダ（2週間）：約 65 万円
- ・アメリカ（3週間）：約 80 万円

※上記は、留学の主要な費用である授業料、航空券、宿泊費の合計です。留学先での生活費やその他諸経費は含まれておりません。

各プログラムの詳細については、本学ホームページをご確認ください。

https://www.daito.ac.jp/international_exchange/studyabroad/language.html



定員が設けられているプログラムはすべて先着順となっており、成績による選抜はございません。また、語学力による足切りもございませんので（インターンシッププログラムを除く）、どなたでもご参加いただけます。

【広報関連】

1. すべての部活動の情報提供をしていただきたい。

【回答】

大学公式サイトにおいて、学生自治会組織、文化部、運動部、公認サークルの基本的な情報を掲載しております。文化系団体や公認サークルについては、これまでスポーツ系の団体に比べ情報量が少なく、「活動内容をより知りたい」「情報を発信してほしい」といったご要望をいただいております。そのため、100周年記念事業募金を原資として、2024年春に関連ページの改修を行い、情報の充実を図っております。

また、大東文化大学を応援してくださる皆さまに向けた新たな情報発信の取り組みとして、2024年春よりLINE公式アカウント「大東サポーターズ」を開設いたしました。月1回配信の「大学ニュース」をはじめ、各種広報媒体の発刊案内、一般参加が可能なイベントやセミナーの情報などをお届けしております。大学に関する最新情報をまとめてご覧になりたい方には、ぜひご活用いただきたいツールです。

2. 東松山校舎及び板橋校舎周辺賃貸物件探しの支援、サポートはありますか。
提携物件、優良物件等

【回答】

本学では現在、学生寮・アパートの案内について、学校法人大東文化学園100%出資子会社である株式会社大東スクラムに業務委託しております。

(株)大東スクラムとして、不動産会社6社と提携し、学生向けの寮やアパートをホームページや住宅紹介パンフレットにより、両キャンパスにてご案内を実施しております。新入生向けには合格発表の時期に郵送でパンフレットをお送りして事前にご案内を行っております。また、在学生向けには、毎年秋に東松山キャンパスにて住み替え相談会も実施しております。

所属キャンパスの(株)大東スクラム DS サポートオフィスや、下記のリンク先からパンフレットをご確認いただけます。

(株)大東スクラム「住まい探しサポート」

<https://www.daito-scrum.co.jp/service/apartment>



【その他】

1. 高坂駅周辺の治安について保護者方が暴走族の集団を見かけた。
1人暮らしの学生が心配です。警察への巡回強化等を大学側からお願いできませんか。

【回答】

このような声が保護者の方から大学に寄せられた旨を東松山警察署にお伝えしました。緊急の場合は躊躇なく110番通報してください。

2. 大学関連のグッズの種類を増やしていただけると幸いです。

【回答】

これまで本学ではオリジナルグッズについて、主に周年事業の一環として制作しておりましたが、期間限定や学内販売のみとなっております。現在は(株)大東スクラムにおいて、グッズ販売を取り扱っており、イベント時の出張販売を含め販売を行っております。(株)大東スクラムではグッズ販売に力を入れており、現在取り扱っているアイテムの他にもラインナップの更なる充実を検討しております。ご希望のものなど皆様からのニーズが高いものがございましたら、大学のオリジナルグッズとして採用を検討することも可能かと思えます、ぜひ皆様からもご希望をお寄せくださいますと幸いです。

なお、グッズ販売はインターネットでも行っておりますことを申し添えます。

(株)大東スクラム「オリジナルグッズ販売」

<https://www.daito-scrum.co.jp/service/original-goods>



3. オープンキャンパスに行くタイミングを法事等で逃してしまった際のフォローをしていただけませんか。

【回答】

オープンキャンパスの時期を逃してしまってもご安心ください。本学では、9時～16時の時間帯であれば、キャンパス見学が可能です。なお、入試制度や学部・学科の特色、学生生活などに関する個別相談は、入試広報課がある板橋校舎で平日(9時～17時)のみ受付しております。混雑のない環境でゆっくりとお話を聞けるため、オープンキャンパスとはまた違った形で大学の雰囲気を感じていただけます。気になる点等ございましたら、入試広報課までお気軽にお問い合わせください。

以上